

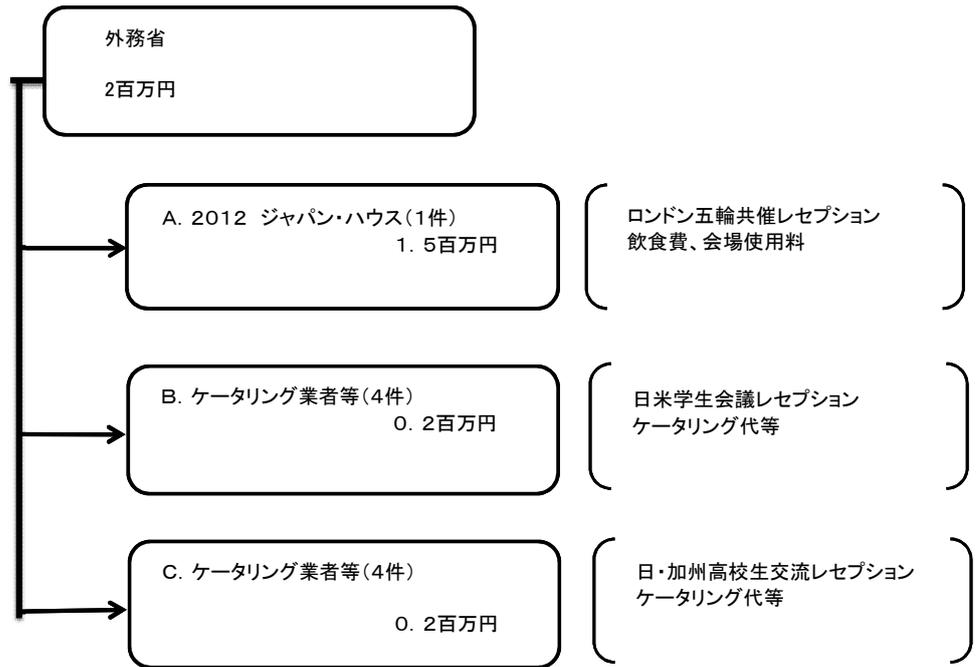
平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	啓発宣伝活動意見交換会議		担当部局庁	外務報道官・広報文化組織		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	人物交流室		室長 中田 昌宏			
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅲ-1-4 国際文化交流の促進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	青少年交流事業及びオリンピック(夏季及び冬季)が開催される機会に、開催地の在外公館において関係者を招いて意見交換会やレセプションを開催し、右を通じて対日理解の促進及び友好親善関係の強化を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 夏季及び冬季オリンピックが開催される際に、開催地在外公館長、日本オリンピック委員会(JOC)及び日本選手団が共催でレセプションを開催し、IOC、開催国及び各国オリンピック関係者や競技連盟関係者等との関係強化を図る。 2. 日米学生会議(本邦と米国とで交互に開催)の米国開催に際し、開催地在外公館長が参加者及び日米双方の関係者を招いた意見交換を実施する。 3. カリフォルニア州と日本の高校生交流事業(毎年サンフランシスコにて開催)の実施に際し、在サンフランシスコ総領事館が参加者に対するブリーフィングや日米関係者を招いての意見交換等の場を提供する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	0.8	0.2	2	2			
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
	計		0.8	0.2	2	2			
執行額		0.6	0	2					
執行率(%)		77.5	0	92.8					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	日米学生会議参加者間の親睦に加え、開催地の有識者等と日米関係等について意見交換を行う。レセプションの参加人数を成果実績の指標とする。			成果実績	人	237	-	127	
				達成度	%		-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	米国在外公館における日米学生会議レセプションの開催			活動実績 (当初見込み)		2	-	1	-
						2	-	(1)	()
単位当たりコスト	(円/)			算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	レセプション開催費	2							
	計	2							

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・ロンドン・オリンピック開催時の在英日本大使館、JOC及び日本代表選手団共催レセプションには、IOC委員を始め国際スポーツ関係者を多数招き、政府が全面支援している2020年東京オリンピック招致に貢献するもの。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・オリンピック開催時の開催地在外公館、日本オリンピック委員会及び日本代表選手団共催のレセプションは、その経費を共催する3者で分担することを原則としている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・レセプション開催は、2020年東京オリンピック招致活動のため各国IOC委員、NOC委員、国際競技連盟役員等との人脈を形成する上で、効果的な場を提供。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	日米学生会議レセプションは本邦と在米国公館にて交互に隔年開催。1934年の初開催より戦争の一時期を除き継続して実施され、同会議OB・OGから各界で活躍する多数の著名人を輩出している。日本政府として本会議の開催にこれまで長期間にわたり協力してきたところであり、レセプションも従来の賛助金に代わる協力として2001年より東京、米国隔年で開催している。 本レセプションの開催は日本人の内向き志向が指摘されている中で日米留学関係者及び日米学生の交流の機会として依然貴重である。また、開催場所(公邸)、経費とも妥当。				
	外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	260	平成23年	248	平成24年	203

個別事業名： 啓発宣伝活動意見交換会議

※平成24年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

個別事業名： 啓発宣伝活動意見交換会議

A. ロンドン五輪共催レセプション (1.5百万円)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
飲食費	ケータリング費用	0.9			
借料	会場借料	0.6			
計		1.3	計		0
B. 日米学生会議レセプション					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
飲食費	ケータリング費用	0.2			
人件費	ボーイ雇い上げ代	0.0			
計			計		0
C. 日・加州高校生交流レセプション					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
飲食費	ケータリング費用	0.2			
人件費	ボーイ雇い上げ代	0.0			
計			計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. ロンドン五輪共催レセプション

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JAPAN HOUSE	レセプション経費、会場借料	1.5	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 日米学生会議レセプション

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	SUGUTA FOODS, INC.	ケータリング代	0.1	随意契約	—
2	個人A	ボーイ雇い上げ	0.03	随意契約	—
3	個人B	厨房手伝い	0.02	随意契約	—
4	K&L Wine Merchants	飲料費	0.02	随意契約	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. 日・加高校生交流レセプション

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	SUGUTA FOODS, INC.	ケータリング代	0.1	随意契約	—
2	K&L Wine Merchants	飲料費	0.03	随意契約	—
3	個人A	ボーイ雇い上げ	0.03	随意契約	—
4	個人B	厨房手伝い	0.02	随意契約	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					